

## エッセイ 制定の軌跡⑦



高橋典只さん

私は東京都出身で、以前は仕事の関係から全国各地を回っていました。縁あって石狩市で暮らすようになった時、ふと「自分の住む場所に対して何かしてみたい」と思い、「この条例の検討委員に応募しました。」

仕事で人事を担当していたこともあり、障がいのある方の採用にも携わりました。そこで、人は誰しも個性や特性を生かす仕事があれば、素晴らしい能力を発揮することを目的にしたりしてきたので、環境づくりは本当に大切だと、私もよく理解できます。

今、この条例ができて一番に願うのは、子どもたちに条例を学ぶ機会をつくってほしいということです。社会の授業などで触れてもらえたらうれしいですね。そうして条例を学んだ子どもたちが大人になり、差別や偏見のない社会が当たり前になれば、それこそ理想のまちの姿ではないでしょうか。

障がい福祉課  
TEL 0133-73-5444  
FAX 0133-73-2270

# 広告